

令和6年度 園経営計画 足立区立あやせ保育園

園長 石原 雅子

1 園の経営目標

- (1) 一人一人の子どもを大切に、笑顔あふれる園生活を通して、「心も体も元気な子ども」「仲良く遊べる子ども」「感性と想像力豊かな子ども」を育てる。
- (2) 家庭や地域と連携し、明るく信頼に満ちた園運営を行い、地域の子育て支援の拠点となる。
- (3) 職員は豊かな愛情と専門性を持ち、子どもの最善の利益に配慮した質の高い保育を実践する。

2 園の現状

- (1) 子どもは身近な大人の愛情に支えられ、楽しく遊ぶ中で様々な経験をし、大きくなっている。
- (2) 時期や年齢に応じて、園庭、公園、近隣保育園等、多様な場所で遊び、様々な動的活動を取り入れており、子どもたちも戸外で遊ぶことを好み喜ぶ姿がある。
- (3) 保護者の方が持つ専門性を活かしてゲストティーチャーとして保育に参加している。
- (4) 職員は園内研修を通して、願いをもち計画をたて、環境を設定することが意識づいている。
- (5) 職員は自ら学ぼうとする姿が増え、保育を拓いていこうとする姿が芽生えている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	子どもが自分を大切な存在であると感じ、意欲的に生活できるようにする。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 人権尊重の精神に基づいた関わりをする。	ア その暮らしさを受容し、子どもの話を最後まで聴く。 イ 「自他の身体を大切にする」ということを保育者がモデルとなり示すことで、子どもが体験的に学べるようにする。
(2) 愛着形成の確立に向けた取組について理解を深める。	ア 「保育の質ガイドライン」を活用し園内研修をする。 イ 日々の事例から、保育の振り返りをし、実践に活かす。
(3) 丁寧な関わりの中で、生活習慣の自立を促す。	ア 「手洗い」「オムツ替え」「着替え」などの見守りや援助の方法を職員間で見直し、全職員で実行する。 イ 発達段階を理解し子どもの気持ちを優先した対応をする。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	子どもが心と体を動かして主体的に遊ぶ環境をつくる。
具体的な取り組み	
型	具体的な内容
(1) 実体験の中で「生きた学び」ができる活動を用意する。	ア 子どもが感じ、考え、試行錯誤できる活動を取り入れる。 イ 子どもが自ら遊びを作り出せるよう、可動遊具（大型積み木）や素材（自然物・紙等）を適切な量や数で準備する。
(2) 体を動かして遊ぶ活動を毎日60分以上取り入れる。	ア 年齢を問わず、朝から戸外で遊べるよう、職員が連携する。 イ 子どもが満足するまで遊べるよう、余裕を持った活動計画を立案する。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	職員は専門性を高め、保育の質の向上を図ります。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもの心や行動を理解する。	ア 写真やビデオを用いて、子どもの姿から事例検討する。 イ 連絡帳や日誌に子どもの行動の裏にある思いを記載する。
(2) 職員が互いの良さを認め合い補い合って保育を進める。	ア 互いの保育を見合い、客観的視点で意見交換をする。 イ 研修等での学びを伝え合うことで、学び合いの風土を定着させる。